

## 企業の農業参入等の促進

企業による農業参入は、新たな需要の開拓や商品開発などを通じた地域農業の活力向上、遊休農地の有効活用等が期待できることから、市町村等地域の意向を踏まえつつ、企業や企業が出資した農業法人による農業経営、農業者と連携して加工・販売を行う企業の参入等を促進します。

### 【目指す5年後の姿】

- ◆ 企業や企業が出資する農業法人による農業経営が増加し、不作付地や遊休農地を活用した農業生産が行われています。
- ◆ 企業との契約栽培や新たな特産品の生産が行われ、地域農業の振興や新たな雇用が生まれ地域の活性化が図られています。

### 【展開する施策】

#### ● 地域の実情を踏まえた企業の農業参入促進

- 農業参入を希望する企業の情報や活用可能な遊休農地等の情報の提供を行い、市町村と連携して企業による農地利用を支援します。
- 参入を希望する企業に対して、生産技術や経営管理技術の習得等の支援や、農業経営に関わる相談活動を実施します。
- 企業と地域の農業者が協力・連携して取り組む、遊休農地の活用や農産物の生産・加工・販売について、助成施策の活用等により支援します。

## 事例 企業の農業参入

### ♣ そば店『草笛』（小諸市）

東北信地方で老舗そば店を展開する「草笛」は、平成20年に農業生産法人「信州蕎麦ルネサンス株式会社」を設立。平成24年現在、18haの自社直営農場でそばを栽培し、自社のそば店で活用しています。県産原料にこだわり、今後も作付けを拡大していく方針です。



【自栽培のそば】

### ♣ 栗加工販売『(株)信州 里の菓工房』 集落営農法人『月誉平栗の里』（飯島町）

飯島町では、県外の栗菓子企業を誘致し、栗の加工販売を行う「(株)信州 里の菓工房」を、地元農家も構成員となり設立。併せて、栗の生産供給を担う集落営農法人を立ち上げ、企業と連携した栗の一大生産地化を目指して取り組んでいます。



【遊休農地を活用し栗を新植】

【企業の農業参入の促進】

